

## 平成23年度総務部税務課執行目標中期進捗表

| 番号 | 執行目標項目及びその内容   | 目標とする指標<br>(具体的な数値・内容)  | 進捗<br>状況 | 達成済の結果   | 年度内の達成に向けた計画   |
|----|--|---|----------|--|--|
| 1  | <p><b>システム改修・職員資質の向上（市民税係）</b></p> <p>現体制（システムの質、職員の資質など）の更なる充実の主要な柱である基幹システムについて、税事務共同化システムに更新し、国税連携と合わせた業務体制を再構築する。</p> <p>この中で検討中の「申告支援システム」の必要性を精査し、導入の是非を決める。</p> <p>また、職員の税務研修の積極的な参加により、総合的な業務遂行能力の向上に努力する。</p> | <p>共同化システムの先進導入団体への調査・研究を行い、「申告支援システム」導入の是非、並びに扶養控除等の見直しなどの大幅な税制改正と併せ、次年度課税に向けて合理的で正確な賦課業務手順を取りまとめる。</p> <p>また、職員の資質向上については、研修会への参加や係内会議等による日々の研讃に努める。</p> <p>これにより、市民税賦課業務体制の確立を推し進める。</p> | ○        | <p>9月に共同化システムの先進導入団体への調査・研究を実施した。</p> <p>「申告支援システム」導入は、共同化業務構築グループ会議における共同業務内容・目標年次の提示並びに国税連携による確申データの收受開始等の導入環境の変化により、費用対効果の見込めないため非とする。</p> <p>また、初任者、農業申告などの研修及び近畿・府下都市税務協議会の担当者研修会に参加した。</p> | <p>次年度課税に向けた賦課業務手順素案を本年中に策定、係内協議を経て3月までに取りまとめる。</p> <p>また、引き続き各種研修会への参加等により、職員の資質向上に努める。</p> |

|   |  |   |   |  |  |
|---|--|---|---|--|--|
| 2 | <p><b>業務の効率化・適正化に向けた検討（資産税係）</b></p> <p>家屋「比準方式」評価方法の導入に向け、研究する。</p> <p>今後もますます新築家屋が見込まれ、個別評価を基本としながらも、納税者への説明責任はあるものの、いつでも「比準方式」評価方法が対応できる体制を整備しておく必要があると考える。</p> <p>また、共有名義の固定資産税について、現在は代表者のみに納税通知を送付しているところを、すべての共有者に送付できるよう整備をする。</p> | <p>「比準方式」評価方法については、近隣市の状況を参考にしながら、本市に相応しい基準の策定に向け、調査・研究を行う。</p> <p>また、共有者すべてに納税通知を送付するため、未整理データの把握・調査を行いデータ整備に向け準備を進める。</p> | △ | <p>「比準方式」評価方法について、近隣市の実施状況等を訪問により聴取した。</p> <p>また、共有者データの整備については、未整理データの件数把握、共有者の持分割合の調査、個人コードの拾い出しを実施した。</p> | <p>「比準方式」評価方法について、近隣市の実施状況を参考に検討し、本市の基準策定に向け内容を取りまとめる。</p> <p>また、共有者データの整備については、整理できたものから順次電算入力をすすめ、早期の完了を目指す。</p> |
|---|--|---|---|--|--|

※進捗状況の欄は、既に達成済の場合は◎、年度内に達成する見込の場合は○、年度内に達成できない場合は△を記入すること。